

令和2年第1回臨時会

令和2年第1回臨時会が5月19日に開かれ、新型コロナウイルス感染症拡大に係る経済対策として、特別定額給付金や子育て世帯への臨時特別給付金を支給する補正予算など7議案を可決・承認しました。また議員提出の意見書も可決し、同日に閉会しました。(5ページに議員別賛否の状況掲載)



令和2年度城陽市一般会計補正予算(第2号) 可決

歳入歳出にそれぞれ1億353万2000円を追加し、補正後の予算総額を394億382万7000円とするもの。

主な歳出として▽子育て世帯への臨時特別給付金の支給▽農業者の支援▽商工業者融資に係る経費等を計上しています。

議員は商工業者融資のための申請書類について市が諸証明を無料化したのを評価した上で、現在の件数と今後の想定数を尋ねたのに対し、市は「5月11日〜15日の間で計79通。今後同じような推移を想定しており、市としても市民にこの制度を利用してもらいたいと考えている」と答えました。

可決された意見書(要旨)

● 新型コロナウイルス感染症に係る緊急経済対策を求める意見書
 コロナ禍による経済危機からの脱却のため、国に次の事項の迅速な実施を強く求める。

▽消費税および税制全般の暫定的軽減策実施▽国債発行による大規模な補正予算編成▽内需主導型経済成長を促す政策検討▽休業要請対象となった被雇用者への十分な休業補償と事業者への返済不要の支援策の実施▽全事業者を対象に持続化給付金の要件緩和および給付額増額や回数増加▽1人10万円の特別定額給付金の再度給付と1世帯当たり30万円の生活支援臨時給付金支給の検討▽保健・医療従事者等への十分な支援▽地方創生臨時交付金増額と医療機関支援給付金の創設▽困窮学生等への授業料減免や一時金支給▽ひとり親家庭等への支援。

○編集後記

議事の経過や結果をしっかりと情報提供するため、今号から2ページ増の12ページとし、紙面構成を変更してお届けします。わかりやすく親しまれる議会だよりを目指してまいりますので、今後ともご愛読ください。

議会運営委員会

議案審議

専決処分の承認を求めること(令和2年度

城陽市一般会計補正予算(第1号) 承認

歳入歳出にそれぞれ77億4329万5000円を追加し、補正後の予算総額を393億29万5000円とするもの。

主な歳出として▽特別定額給付金の給付▽休業要請対象事業者の

表彰

6月30日の本会議では、次の議員が全国市議会議員10年以上表彰を受けたことを報告しました。

太田 健司 議員

支援に係る経費を計上しています。なお可能な限り迅速に給付できよう令和2年4月30日付けで専決処分が行われたものです。

議員からは「地域で消費し地域の経済活性化に貢献するという特別定額給付金の趣旨から考えれば、申請漏れを防ぐことが重要で、8月31日の期限までに申請手続が滞っている人に対しては、はがき等で注意喚起を行うべき」と意見が出ました。(委員会付託省略)

◆次期定例会日程(予定)◆

- 本会議(開会) 9月8日
- 常任委員会 9月10・11・15・16日
- 本会議 9月18・23・25・28日
- 本会議(閉会) 9月30日